

一般質問



一人一人が、大切にされるまちづくりを



無会派 ● 赤祖父 裕美 議員

学校部活動の地域連携 および地域クラブ活動

問 令和4年に国はガイドライン、令和6年に県は方針を示しました。本市の進捗状況は。

答 令和4年度から協議を進め、アンケートを行ってきました。本年は、国の実証事業を活用し、部活動地域コーディネーターを設置し、地域移行に向けた推進協議会の中で、推進計画やガイドラインを示していきたいです。

問 湖南市スポーツ推進計画に基づく「文化・スポーツ課」との連携について。

答 教育委員会だけでなく関係団体と情報共有し連携していきます。

高齢者の移動支援

問 第四次地域福祉計画・地域福祉活動計画にある地域支え合いによる移動支援をどのようにして進めるのか。

答 移動支援事業は喫緊の課題と認識し、現在、各まちづくり協議会のささえあい推進員活動の中で議論を進めています。市としてどんな支援が出来るのか、社会福祉協議会と連携しながら検討していきます。

問 自治体職員退職者の増加について

問 近年の状況は。

答 令和5年度23人、令和4年度13人、令和3年度21人です。

問 その原因と対策は。

答 ご家族の介護や住居に近い自治体への転職、以前から抱いていた夢の実現と様々です。

問 パワハラ、セクハラの状況と対策は。

答 昨年、一件発生しております。湖南市コンプライアンス推進指針を徹底し、ハラスメント相談員4名を周知し、相談しやすい環境を整えています。



コミバスの運行・通学路の安全について



会派 きずな ● 永田 誠治 議員

問 コミュニティバスの運行がなされたいきさつについて

答 旧甲西町時代において平成元年7月から循環バスの運行検討が開始され、平成2年7月より、貸切りバスによる町内2コースでシャトルバス「ふれあい号」として運行が開始されました。一方旧石部町では、町内循環バス「めぐるくん」として、コミュニティバスの運行を開始し、平成16年10月の市町村合併以降は、コミュニティバス事業として、皆さまでの移動手段として、継続運行に努めているところでございます。

問 市民の移動手段について

答 コミュニティバスは、通勤・通学、買い物、通院など地域住民の日常生活に必要な移動手段としての役割を担っています。

ていると考えております。

問 減便に伴う弊害について

答 普段からご利用いただいている一部の便が減ったなど、利用者の皆さまには影響が生じているものと承知しております。改善に向け、運転手の確保に努めるとともに、実施可能な施策についても関係機関と連携しながら取り組んで参ります。

問 通学路の安全整備について

答 近年、周辺においては、大規模な商業施設と住宅開発が進められており、今後、益々通行車両の増加が想定されることから、地元区および教育部と情報共有や連携を行った上で、安全対策を講じて参りたいと考えております。